

01 梅原猛先生を悼む

03 [特別企画]  
本庶佑氏に県民栄誉賞

05 [知事対談]  
スポーツで強い絆  
駐日英国大使  
ポール・マデン氏

学び合う 高め合う  
— 静岡とインドネシア —  
駐日インドネシア大使  
アリフィン・タスリフ氏

13 [世界の人々との交流の拡大]  
国内最大級の  
観光キャンペーン開幕!  
本県の総力を結集して  
新しい魅力づくりへ

15 [県政特集]  
オリンピックで加速する  
ふじのくに芸術回廊の実現  
— 静岡県文化プログラム —

17 [ふじのくにブランド]  
砂糖えんどう

18 [Living My Dream Life in ふじのくに]  
鈴木ステラさん

特別企画

京都大学高等研究院の副院長・特別教授で、  
静岡県公立大学法人顧問就任をはじめ、  
本県の学術振興や医療政策、社会健康医学の取り組みに  
多大なご尽力を賜っている  
本庶佑氏がノーベル生理学・医学賞を受賞した。  
静岡県は県民栄誉賞を贈呈することを決定。  
今年2月、静岡市内で贈呈式が行われた。

## ノーベル賞を受賞した 本庶佑氏に県民栄誉賞

続メダリストの河合純一氏  
(2004年)、ノーベル物理学  
賞受賞の天野浩氏(2015  
年)に贈られ、今回の本庶氏で  
5人目となる。いずれも県民に  
明るい希望と活力を与えての  
受賞である。  
祝賀会の発起人代表でもあ  
る川勝知事は、「本庶先生には  
静岡県のために獅子奮迅のご  
活躍をいただいている。今日は  
先生を敬愛する県民の祝賀を  
お受けください。これからもご  
健勝で、富士山のような「日本  
の宝」として末永く活躍いた  
だきたい」と語り、心からの敬  
意と祝意を示した。



「先生は私の命の恩人」と語る森元総理もお祝いに駆けつけた。



会場にはノーベル賞のメダルも展示され、間近で見ることができる貴重な機会となった。



「静岡に着任してから、国際的な賞をいただくなど評価を受ける機会が増えている」と語った。

### 治療の可能性を広げる発見

2018年10月、スウェーデンのカロリンスカ研究所は2018年のノーベル生理学・医学賞を、本庶佑・京都大学高等研究院特別教授とジェームズ・アリソン・テキサス大学教授に授与すると発表した。

受賞理由は「免疫抑制の阻害によるがん治療法の発見」。1992年に免疫を抑制するタンパク質として、「PD-1」を発見し、この性質を利用した新しいがん治療法を開発したことが評価されたもの。このがん免疫療法は、手術、薬物療法、放射線治療による従来のがん治療法と異なる画期的なもので、がん治療の可能性が大きく広がると言われている。

本庶氏は、2017年4月まで約5年間にわたり静岡県公立大学法人理事長を務められ、現在は同法人顧問のほか、ふじのくに地域医療支援センター理事長、ふじのくに

バーチャルメデイカルカレッジ学長、静岡県「社会健康医学」推進委員会委員長など様々な公職でご活躍いただいている。

2月26日に静岡市内で開催された受賞祝賀会の席上で、川勝知事から本庶氏に県民栄誉賞が贈られた。本庶氏は「本日は静岡の皆様にお招きをいただいた。県民栄誉賞に心からお礼申し上げます。自分がやってきたことの証として、「あなたの研究で自分の命が救われた」と言われる機会が増えている。最高の幸せであり、今まで生きてきたご褒美だと感じる」と挨拶し、感謝の意を表した。

### 「日本の宝」として

県民栄誉賞は、これまでにパルセロナオリンピック競泳金メダリストの岩崎恭子氏(1992年)、アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストの水鳥寿思氏(2004年)、パラリンピック競泳4大会連



「生命科学の未来」(藤原書店2018年)

本庶氏の座右の銘「有志竟成(ゆうしきょうせい)」(強い志を持てれば、目的は必ず成し遂げられる)ノーベル博物館に寄贈された色紙のレプリカ。受賞後の2018年11月、静岡県立大学に寄贈された。

### PD-1とは

PD-1は免疫細胞の表面に存在するタンパク質で、がん細胞表面に現れるPD-L1というタンパク質と結合すると、免疫細胞のがん細胞への攻撃にブレーキをかける働きをする。PD-1とPD-L1が結合するのを防いでこのブレーキを解除することで、免疫細胞の攻撃力を回復し、がん治療につながる。